



桂川電機株式会社

証券コード 6416

平成25年3月期 第2四半期業績状況

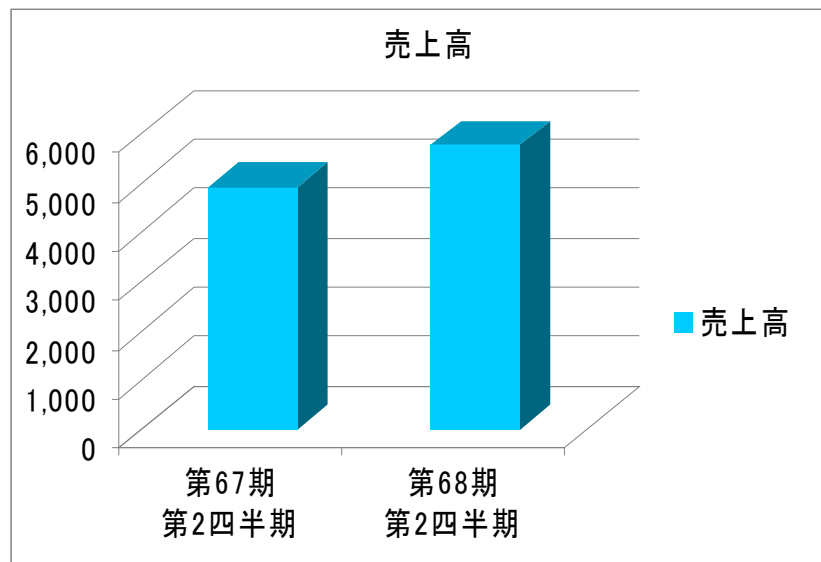
当社グループの平成25年3月期第2四半期の業績及び対応策につきまして、ご説明申し上げます。

当社グループは、現在厳しい状況にありますが、様々な対応策を積極的に講じております。その中で、業績回復の兆しが表れつつあり、一刻も早い業績回復に向けた努力をしているところでございます。

平成25年3月期第2四半期 連結業績

[単位: 百万円]

	平成24年 3月期 第2四半期	平成25年 3月期 第2四半期	前年比 (%)
売上高	4,921	5,773	117
営業利益	-854	-414	
経常利益	-1,223	-681	
当期純利益	-1,380	-702	

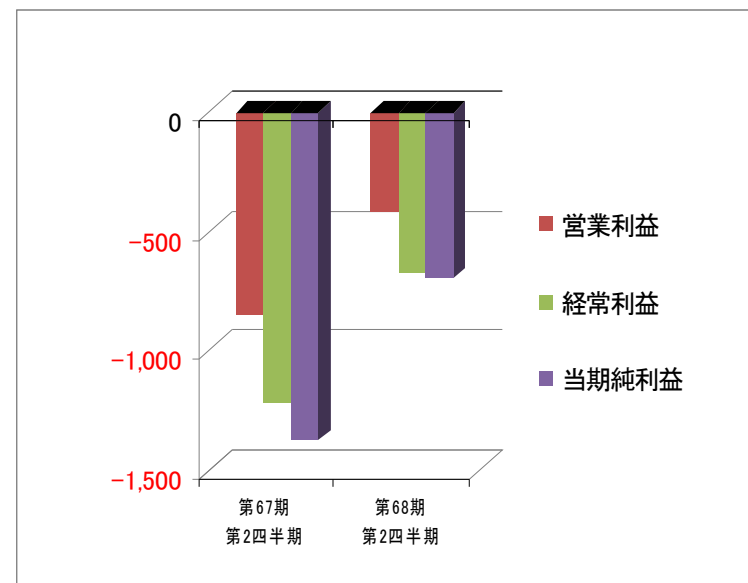


平成25年3月期第2四半期の連結業績につきまして、これまで米国の経済回復の遅れや欧州における財政問題の深刻化等から産業界全体で設備投資が落ち込み停滞しておりましたが、米国市場での回復がみられはじめ、当該第2四半期の売上は、前年第2四半期に比べて大幅にアップしました。
(17%アップ)

当社グループは、収益構造改革の完遂をめざし努力しているところであり、固定費や材料費に限らず、コストの見直し及び削減を実施しております。このため、営業利益は、マイナスとなりましたが、前年第2四半期に比べてほぼ半分の額となり、大幅な改善効果を得ることができました。

また、当期純利益におきましても、マイナスとなりましたが、前年第2四半期に比べてほぼ半分の額となりました。

[単位: 百万円]



■収益構造の改善

- 1) 当社グループの営業活動においてショーや内覧会を積極的に開催して、全世界に向けてKIPブランドを広めております。
- 2) 販売費及び一般管理費の無駄を省くことにより、固定費を含むコスト管理の強化を実施しております。
- 3) 在庫削減及び購入調整の強化を実施しております。

■ 組織体制の見直し、及び人員削減等による合理化

前年来より組織体制の合理化を実施してまいりましたが、更に人員削減を含む組織体制の再編を行ない、効率の良い組織体制が整いつつあります。

■ 新規事業の開拓

新たな収益源の確保を目的とするため、一つの柱となるような新規事業の検討を行っております。

当社グループは、この難関に立ち向かうために一丸となって業績回復への対応策を講じており、その成果は着実に良い方向に現れ始めております。下半期の業績につきましても中間発表以上の業績を残せるように、尚一層の努力をする次第でございます。